

真夏の集い・皇學館

平成23年

8月7日

開催

第1部 総会

第2部 懇親会・ビジネス交流会

人にはさまざまな、出会いがあります。

こんな経験ありませんか。

何気ない会話の中でふと、

「えっ、皇學館の卒業ですか」と。

その時互いの

距離がぐっと近くなった。

そんな経験ありませんか。

同じ学び舎で時間は

違えども過ごした

そんな些細なことも

少しの喜び、安らぎを

もたらししてくれる。

これは同窓生だから

経験できることなの

かもしれません。



日時 平成23年8月7日(日) [午後1:30～午後4:30]

場所 皇學館 学舎内

●第1部 総会【皇學館中学校 セミナーホール】

●第2部 懇親会・ビジネス交流会【皇學館大学 倉陵会館】

会費 懇親会のみ会費 3,000円 (ただし今期卒業の46期生は無料ご招待となっています。)

受付 午後1:00～

第1部 会員総会 午後1:30～午後2:15

(同窓生の皆様を対象の総会です。卒業生の方、ぜひ出席して下さい。)

第2部 懇親会・ビジネス交流会

午後2:30～午後4:30



昨年度の懇親会風景

今回初めての企画として懇親会と併せてビジネス交流会を開催させていただきます。現在、卒業生も16000名をこえ、多種多様にそれぞれの分野にて活躍されています。今回そんな方々とともにそれぞれの企業PRを交え同窓生各人が更なる交流をしていただく場になればと企画させていただきました。

従来の同窓生同志の懇親会と併せ持って楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。一人でも多くの同窓生のご参加を、お待ち申し上げます。

- 今回同窓生の方で、ビジネス交流会出展を希望される方がみえましたら、7月15日までに【担当 山本 電話 (090-1471-8596)】までご一報下さい。

※お車で越しの方は、皇學館高校の駐車場にお停め下さい。(P.4参照)

なお、アルコールの用意もございますので、飲まれる方は公共交通機関をご利用下さい。

- 参加のお申し込みは、同封のハガキ、またはホームページからできます。

【お問い合わせ先】 同窓会事務局 皇學館高等学校事務室 TEL 0596・22・0205

題字 皇學館高等学校長

中村

貴史

皇高同窓会報

◇編集発行 皇學館高等学校 同窓会(本部)

〒516-8577

三重県伊勢市楠部町138番地

TEL (0596) 22-0205 (代)

FAX (0596) 24-3141

◇印刷 (有) 青木印刷

会員数

◎同窓生

16,318名

◎在校生(H23.5.1現在)

1年生 363名

2年生 319名

3年生 370名

計 1052名

ホームページ

今後会報だけでなく、ホームページを通じて同窓会員との連絡やコミュニケーションをより一層深めていきたいと考えています。

ホームページへのご来訪、ご参加をお待ち申し上げます。

<http://www.kogakkan-d.jp>

jp

※住所変更などは、ホームページ

ビジネス交流会

参加予定リスト

大 喜	坂田 巧	1
橋本 天	丸田 衛	2
橋本 七商店	中山 豊行	3
中山 自工	竹内 惣三	4
レガート	西村 一弘	5
美 海	光代	6
Gallery TAKAKASI	富永 高橋千春	7
きく本	菊本 幸宏	8
GREEN ART	新谷 浩一	9
福ぶく家	倉野 忠久	10
開福亭	下村 忠	11
鴻原会計	鴻原 常浩	12
伊勢労働管理事務所	浅野 敦	13
画 家	中村 仁志	14
彩電館ビルタ	昼田 実郎	15
ローズパール	世古 裕彦	16
アゼスト	北村 敬一	17
村瀬建設	元坂 中村 桐子	18
元坂酒蔵	森 大亮	19
豚 五 商 事	中村 憲太郎	20
球友堂スポーツ	角 俊介	21
グリニ	河西 さつき	22
キクチペイント	菊池 平賀千晶	23
Cafe Bar Cher	岩下 ゆきえ	24

六月二十日現在の申し込み状況です。

二十一日以後はホームページにて更新しております。

【】内は卒業期を表します。

() 内は旧姓を表します。

※敬称略

同窓会本部体制の 充実に御協力を！



皇學館高等学校
同窓会会長

坂田 巧 (第一期生)

皇學館高校創立五十周年へ向け、同窓会員始め現・旧教職員の皆様方、そして神社界はじめ多くの方々には、御浄財をご寄付いただいておりますこと、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

五十周年記念事業は平成二十五年の春もしくは秋に実施する予定であります。記念式典、記念講演会の開催、同窓会と講演会、保護者会が一体となった交流会など行う予定です。記念事業のうち、在校生のクラブ活動に対する支援は毎年行っておりますが、「応援歌」につきましても現在発表の時期をうかがっている状況であります。

創立五十周年を機に、同窓会本部体制の充実のため、年度幹事会の組織固めを推進し、同級生の力を結集して、立派な五十周年事業に仕立てたいと思っています。

今年の総会及び懇親会は、来る八月七日(日)に開催しますが、新しい取り組みとして、同窓会員の企業交流会と銘打って楽しい懇親会を企画しています。

一期から四十六期までの先輩後輩の交流が図れる唯一の場です。沢山の同窓生諸氏のご参加をお待ちしております。



動的平衡

第十一代学校長

中村 貴史

本質を衝いた言葉は、

そうザラにはないものですが、福岡伸一さんの「動的平衡」という言い方は、その稀な例です。寺田寅彦や中谷宇吉郎の系譜につながるものを、氏の「生物と無生物の間」での平明な文章に感じるのですが、分子生物学者である

福岡さんの功績は、生命とは何かについての説明を、生物学に基づいて、わかりやすく、きつちりと完成させた点にあります。生きるということ、個

体の流れのうちにとらえ、それらの個体が、互いに他を律しながら、バランスを保ちあっている、というのが、「動的平衡」の

指す内容ですが、機械論的生物観では説明のつかない生命の本質を、氏は

総体的なこの一語のうちに集約しています。

僕は半年ばかり会うことのなかった知人と、「お変わりありませんね」という挨拶を交わします

が、分子レベルでは、細胞はすっかり変わっています。個体にあつては、それは新陳代謝と呼ぶ現象ですが、この世界を構成する生あるものすべてが、

そうした連鎖バランスのうちにあることを説いた所に、その意義があります。生あるものの一切、それらを有機的な連環の相のもとに捉えるのは、とりわけ新しい思想ではありません。生命の本質を流れることのうちに見て、紀元前五世紀のヘラクレイトスは「万物は流転する」(パンタレイ)を言ったのであり、その思想は孔子の「逝く者は斯くの如きか、昼夜を措かず」(論語・子罕第九)という観照に通底し、「行く水の流ればたえずして、しかも、もとの水にあらず」という詠嘆(「方丈記」)へとつながっていくものでもあります。

私は、自然保護・エコ

推進に熱心な人たちにみられる一種の党派性には

懐疑的ですが、自然の摂理と同義語でもあるこの言葉には、「ああ、そうだな」と心から納得します。

それは、ほとんど、神道、あるいは、日本化された仏教の生命観に添うものです。誤解のないように――

氏は性急に機械論的生物観を断罪してはいません。科学の発展上、それは欠かせないことなのだが、介入的な手法には限界があり、

生命連鎖を危うくしてしまいかねない、という議論なのです。それは、われわれが漠然と抱く常識を言い換えたに過ぎないとも言えます。すべてのものに作用、反作用があり、

迂遠ではあっても離れて総体的を眺め、ピンポイント式手法によらず、対蹠的療法ではない見地から、考えることの大切さ――氏が主張していることは、そういうことなのです。

母校に赴任して

第三十七期生 阪江 萌実

(本学情報科教員)



平成十四年三月、皇學館高校を卒業し、五年後の四月、縁あって母校に奉職することとなりました。教科は情報。Word・Excelなどのソフト

の使い方ははじめ、著作権・情報モラルなどの知識・技術を生徒たちがしっかりと身に付け、社会に出た時に役立つように、日々授業をしています。また、今年度は進路指導部の一員として、学校の業務に当たっています。生徒が希望する進路実現に向けて、まだまだ未熟ですが、ほかの先生方と協力しながら進路指導をしています。

クラブ活動では、高校時代に所属していたバスケットボール部の顧問となり、後輩でもある生徒たちと毎日をご一緒することがとても楽しく、充実した毎日を送っています。最後になりますが、微力ながら、今後も本校生の教育に力を注いでいきたいと思っています。



五つの心

第十九期生 五十子 智

同窓生の皆様、はじめまして
第十九期卒業の五十子智と申します。

まずこの度の東北地方太平洋
沖地震により、亡くなられた方々
に衷心よりお悔やみ申し上げま
すとともに被災された皆様に謹
んでお見舞い申し上げます。

私は旅館「二見温泉 ホテル
清海」を経営しています。観光
産業に携わる者として被災され
た皆様に何かお役に立つことは
できないかと考えていた所、社
員の皆さんから「今こそ思いを
一つにして頑張るときではない
か、少しでも被災地の方々の力
になりたい」と申し出があり、
震災翌日に義援金箱を社内に設
置し、自主的に協力を呼び掛け
る姿に私はとてもうれしく思い
ました。その様子が、先日毎日
新聞にも取り上げて頂きました。
一日も早い復旧と皆様のご健
康を心よりお祈りしております。

最近の私と皇學館との関わり
は、娘二人が皇學館中学校にお
世話になり、また数年前から伊
勢・鳥羽地区の少年少女柔道に
携わりながら、皇學館大学柔道
部の学外講師もさせて頂いてお
ります。

そこで柔道を通じて子供や生

徒達といろんな経験をしました。
たとえば勝負の結果も大事です
が全てではないということです。

まず目標を持ち、そしてそれ
に向かって努力するという習慣
を身につけるよう日々指導して
おります。

人間とは弱い生き物です。ど
うしても辛いことから逃げがち
です。そこを敢えて逃げずに立
ち向かいますと、色々な事が見
えてきます。そして「五つの心」
を持ちながら努力し続けていけ
ば目標に近づく事が出来ると思
います。

日常の五訓

「はい」という素直な心
「ありがとう」という感謝の心
「すみません」という反省の心
「私があります」という奉仕の心
「おかげさまで」という謙虚な心

私がこの言葉をはじめて知っ
たのは皇學館高校を卒業し、専
修大学柔道部に入部した時、柔
道場に掲げられているのを目に
しました。在学中、毎日目にし
ていましたがその時は特に何も
感じる事もなく今迄過ごしてき
ました。しかし先日大学の道場
に久しぶりに立ち寄った時、こ
の五訓を見てその大切さを強く
感じ、またこの五訓は人間関係
を円滑にし、これを実践するこ
と、身につけることが大切と再
認識致しました。

全国大会出場クラブよりの報告

県総体優勝

男子バレーボール部

藪岡 峻也

三度目の挑戦

三年連続七回目のインターハイ
出場を果たすことができました。
毎年選手が入れ替わる中での三年
連続出場は、今回が初めてですが、
とても意義深いことと嬉しく思っ
ています。

今年の開催地は東日本大震災の
被災地でもある秋田県です。震災
の被害が問



男子バレーボール部

題となっ
ている中
で、イン
ターハイ
に出場し
、大好
きなバ
レーボ
ールが
できる
ことに
感謝し
、悔い
の残ら
ないよ
うに頑
張るつ
もりで
す。一
昨年、
昨年と
予選リ
ーグを
突破す
るもの
の、決
勝トー
ナメン
トを一
回戦で
敗退し
ました
。今年
はその
壁を打
ち破る
挑戦の
年です
。まず
は予選
リーグ
を勝ち
残り、
一回戦
・二回
戦・三
回戦と
勝ち進
みたい
と思っ
ています。
全国の
舞台で
、皇學
館らし
く爽や
かにプ
レーし
たいと
思います
ので、
応援を
よろし
く願ひ
します。

県総体優勝

柔道 81kg級

萩 優次

やっとなつかみとった栄光

去年のインターハイ予選ではあ
と一步のところで負けて悔しい思
いをしました。先生方にも相談し
、練習の工夫もしましたが、な
かなか結果が出ませんでした。決
勝の相手は、ジュニアで負けてい
る選手です。緊張しましたが、負
けても悔いのない試合をしようと
思い切って初めて勝つことができ
ました。とても嬉しかったです。
念願のインターハイに行けるの
も嬉しいことです。三重県代表と
して悔いのないようにベスト4を
めざしていきます。また、全国大会
で「皇學館ここにあり！」と校名
を世に轟かせ、個人はもちろん学
校の名誉のためにも戦ってくるつ
もりです。



柔道部

県総体優勝

男女バドミントン部

インターハイ初出場 外山 寛大
男子バドミントン部の目標は、
インターハイ出場と全国のベスト
8入りです。その一方で、将来社
会の指導者として活躍できる資質
を身につけることです。そのため
に毎日の苦しい練習を必死の思い
でこなし努力してきました。

今回、県総体の団体戦で優勝し、
男子複の部も優勝、男子個人準優
勝と3部門すべてでインターハイ
出場が決まりました。このような
素晴らしい結果は、顧問の先生や
応援して頂いた方々や支えてくれ
た家族のおかげと思っています。

これからは県代表という自覚を
持って、学校の名に恥じないよう
にプレーしたいと思っています。

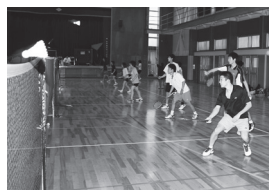
チーム全員の総合力 櫻谷 実里

今回初めてインターハイに出場
できることになりました。予選の
県大会では、正直なところ優勝
は難しいと言われていましたが、
チームとしての総合力で優勝する
ことができました。また、一年生
がダブルスで準優勝し同じくイン
ターハイに出場します。どのよう
な状況でも諦めずに、自分を信じ、

最高のプレーを続けることの大切さを学んだように思います。先生方や家族への感謝の気持ちを保持してインターハイに臨みます。また、県代表として「皇學館らしいプレー」「気持ちを出すプレー」をしていくつもりです。応援よろしくお願いします。



バドミントン部



バドミントン部

・バドミントン部は、男子複（優勝）
男子単（二位）、女子複（二位）も
全国大会へ出場します。

県高校囲碁選手権

因基個人の部 二位

澤山隼也

入賞をめざして

五月の県選手権大会で準優勝し、七月下旬に東京で行われる全国高校囲碁選手権と、八月上旬、福島県で行われる全国総合文化祭（囲碁部門）への出場が決まりました。

実は中学生の時に初めて全国大会に参加した時の会場が、今回の日本棋院会館（東京）で、三年ぶりに再び日本棋院で囲碁が打てることで、とても気持ちが高ぶっています。総合文化祭は、原発問題が少し心配ですが、こちらは三年連続出場なので、これまでの反省

を生かして、粘り強く最後まで諦めない姿勢で戦おうと思っています。目標は、初日の予選を全勝し、二日目の決勝トーナメントに進出することです。大会のレベルが高くてどこまで実現できるかわかりませんが、夢は大きくもつています。そのため日々精進し、研鑽に励んでいます。

退職された教職員の皆様

・教員（理科）
濱口 画里

・教員（養護）
武藤 江美

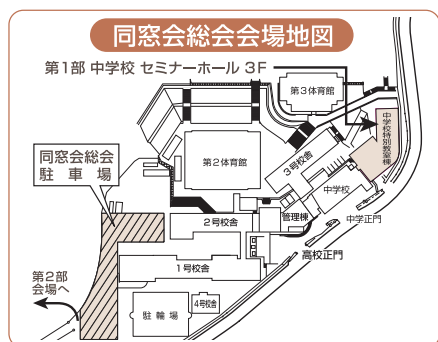
新任の教職員の皆様

・教員(理科) 松島 一樹

・教員（養護）
小林 美紀

・事務（理科助手） 坂井すみ子

（敬称略）



平成 23 年 3 月卒業生進路状況

国立大学

名古屋工業大学
筑波大学
三重大学
静岡大学
金沢大学
信州大学
新潟大学
高知大学
和歌山大学
大阪教育大学
帯広畜産大学
北見工業大学

公立大学

三重県立看護大学
首都大学東京
愛知県立大学
都留文科
静岡県立大学
大阪市立
富山県立

立

国立大学校

防衛大学校

私立大学

愛知大学
愛知医科大学
愛知学院大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
青山学院大学
大阪工業大学
関西大学
関西外国語大学
関西学院大学
岐阜医療科学大学
岐阜聖徳学園大学
畿央大学
京都外国語大学
京都橘大学
京都産業大学
京都女子大学

京都薬科大学
玉川大学
北里大学
近畿大学
金城学院大学
金沢工業大学
駒澤大学
慶応義塾大学
甲南大学
皇學館大学
四日市看護医療大学
神戸学院大学
神奈川大学
嵯山女学園大学
鈴鹿医療科学大学
摂南大学
専修大学
大東文化大学
中央大学
中京大学
中部大学
帝京大学

東海大学
藤田保健衛生大学
同志社大学
同志社女子大学
南山大学
日本大学
日本赤十字豊田看護大学
日本福祉大学
武庫川女子大学
法政大学

佛教大学
 名古屋外国語大学
 名古屋学院大学
 名古屋学芸大学
 名古屋女子大学
 名古屋商科大学
 名城大学
 立命館大学
 龍谷大学
 早稲田大学

平成 23 年 3 月卒業生進路一覽表

進 路		男 子	女 子	合 計
進学者	四年制大学	155	144	299
	短期大学	2	19	21
	専門学校	11	43	54
	進学待機者	11	12	23
大学校・留学		2	0	2
就職	一般企業	2	2	4
	公務員	2	1	3
合 計		185	221	406

事務室からのお願い

卒業証明書・成績証明書・調査票等が必要な場合は事前に電話連絡をお願いします。突然、来校されても、卒業証明書を除くほかの書類については、翌日以降の発行になります。即日発行はできませんので、その点ご注意ください。

受付時間

月 金
午前 8 時 30 分
午後 4 時 00 分

(日曜・祭日・第二・第四土曜日は休業)

学校行事にて変更の場合あり

連絡先 皇學館高等学校事務室

0596 (22) 0205

住所変更等は皇高同窓会ホームページで
変更をお願いいたします。

<http://www.kogakkan-d.jp>

ホームページ以外での住所変更等は必ず封書でお願いいたします。
封書で住所変更（名簿変更）等のご連絡をしていただく場合は、

●お名前 ●変更直前のお名前 ●卒業時のお名前
●会員番号（卒業年度・卒業期） ●郵便番号・住所

をご記入の上、皇學館高等学校へ送付してください。

【送付先】〒516-8577 三重県伊勢市楠部町138

皇學館高等学校 事務室 同窓会担当者 宛